

過去に各共同研究機関での診療や研究に試料・情報をご提供いただいた皆様へ

— 国立精神・神経医療研究センターで開始される新たな研究への利用に関するお知らせ —

このたび、皆様が過去に各共同研究機関（国立がん研究センター、国立循環器病研究センター、国立成育医療研究センター、国立長寿医療研究センター）での診療や研究にご協力いただいた際に提供された試料・情報の一部を、国立精神・神経医療研究センター（NCNP）が新たに開始する下記の研究に利用させていただきたく、ご案内申し上げます。

本研究の実施にあたっては、国が定めた倫理指針に基づき、対象となる方お一人ずつから改めて直接同意をいただくかわりに、研究の目的等を含む情報を公開し、ご自身の試料・情報を利用してほしくない場合に拒否できる機会を保障しております。

この研究で試料・情報が利用されることにより、皆様に新たなご負担や制限が加わることは一切ございません。ご自身の試料・情報の利用を希望されない場合は、お手数ですが、試料をご提供いただいた機関の問い合わせ窓口までご連絡ください。なお、利用を希望されないことを申し出られても、なんら不利益を受けることはございませんのでご安心ください。

1. 対象となる方

過去に以下のいずれかの研究や事業にご協力いただき、試料・情報の提供および二次利用にご同意いただいた方々。

■国立がん研究センターにおいてご協力いただいた方

- 先行研究課題名：【多機関共同研究によるマルチオミックス解析に基づく脳腫瘍の発生・進展の分子機構の解明】（倫理委員会承認番号：2021-203）
- 研究責任者：【鈴木 啓道】
- 試料をご提供いただいた期間：【2002年1月1日～2027年3月31日】

■国立循環器病研究センターにおいてご協力いただいた方

- 事業名：国立循環器病研究センター・バイオバンク
- 研究責任者：【朝野仁裕】

■国立成育医療研究センターにおいてご協力いただいた方

- 先行研究課題名：【胎盤の解析基盤の開発】（倫理委員会承認番号：1386）
- 研究責任者：【松本健治】
- 試料をご提供いただいた期間：【2017年4月1日～2024年8月31日】

■国立長寿医療研究センターにおいてご協力いただいた方

- 先行研究課題名：【アルツハイマー病初期における青斑核神経軸索の変性退縮に関与する分子メカニズムの解明】（倫理委員会承認番号：1616-7）
- 当時の研究責任者：【飯島 浩一】
- 試料をご提供いただいた期間：【2001年7月～2024年4月】

2. 試料・情報の提供のみを行う者の機関名・所属・氏名

機関名: 国立がん研究センター

- 所属・氏名: 脳腫瘍連携研究分野 分野長 鈴木 啓道

機関名: 国立循環器病研究センター

- 所属・氏名: 病院/肺循環科 病院副院長/肺循環科特任部長 中岡 良和

機関名: 国立成育医療研究センター

- 所属・氏名: 周産期病態研究部 周産期ゲノミクス研究室 室長 中林 一彦

機関名: 国立長寿医療研究センター

- 所属・氏名: 神経遺伝学研究部 部長 飯島 浩一

3. 試料・情報を提供する研究課題名と研究代表者又は研究責任者

研究課題名: シングルセル空間トランスクリプトーム解析基盤技術の開発およびそれを用いた疾患病態解明

研究期間: NCNP での研究実施許可受領後から 2027 年 3 月 31 日まで

研究代表者(研究責任者): 国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 病態生化学研究部 星野 幹雄

(共同研究機関)

国立がん研究センター 脳腫瘍連携研究分野 鈴木 啓道

国立循環器病研究センター 病院/肺循環科 中岡 良和

国立成育医療研究センター 周産期病態研究部 中林 一彦

国立長寿医療研究センター 神経遺伝学研究部 飯島 浩一

国立健康危機管理研究機構 臨床情報研究室 坊内 良太郎

4. 利用又は提供する試料・情報等と取得方法について

試料: 各機関において、上記1の先行研究等でご同意に基づき採取・保管されている以下の組織試料

国立がん研究センター: 脳腫瘍サンプル

国立循環器病研究センター: 肺の FFPE 切片

国立成育医療研究センター: 胎盤組織切片

国立長寿医療研究センター: 剖検脳組織(パラフィン切片)

情報等: 上記試料に付随する研究用 ID

(取得方法) 各機関から提供を受けるのは、個人が特定できないように新しく付番された研究用 ID のみです。氏名、住所、生年月日等の個人情報や、個別の診療情報(治療経過、治療内容、画像検査、年齢、既往歴、家族歴など)が NCNP に提供されることはありません。これらの情報と研究用 ID を結びつける対応表は、提供元の各機関においてそれぞれの規程に基づき厳重に管理されます。

5. 試料・情報の利用目的及び利用方法

利用目的: 本研究は、様々な疾患の病態を細胞レベルでより深く理解するため、組織内での細胞の位置情報を保ったまま、個々の細胞の遺伝子の働きを網羅的に解析する「空間トランスクリプトーム解析」という

新しい技術の基盤を、6つのナショナルセンター（NC）の連携により構築することを目的とします。この基盤を用いて、各機関から提供される貴重な組織試料を解析し、疾患特有の細胞の空間的な分布や、細胞同士がどのように影響し合っているかを解明することで、新たな治療法や診断法の開発につなげることを目指します。

安全管理措置：提供元の機関からNCNPへ試料・情報が提供される際には、個人が特定できないよう匿名化されます。NCNPでは、提供された試料は施錠管理された区域で、研究用ID等のデータはパスワード等で保護されたコンピュータ上で厳重に管理し、本研究の研究担当者のみがアクセスできます。研究成果を学会や論文で発表する際にも、個人が特定できる情報が公開されることは一切ありません。

6. 利用又は提供を開始する予定日

研究実施許可日を予定しています。

7. 問い合わせ窓口

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下記問い合わせ担当者までお問い合わせください。

機関名：国立精神・神経医療研究センター

所属：神経研究所 病態生化学研究部 氏名：星野 幹雄

電話番号：042-346-1722（内線：5254）

e-mail：hoshino@ncnp.go.jp